

緑の宝



2020
新年号
No.71



..... 目 次

会長挨拶	2
知事挨拶	3
ロボット芝刈機技術研修会	4
特別支援学校緑の保全事業	5
緑化巡回アドバイザー	6
日比谷公園ガーデニングショウ2019	8
みどりのおたより	10
国土交通大臣顕彰、建設産業のつどい、静岡県さくらの会	11
緑の相談所開設	12
まちづくり2019ふれあいイベント、アンケート	13
静岡県景観賞、新規賛助会員	14
技士会だより、壁面緑化施設撤去、スマホ「ながら運転」罰則強化	15
会員名簿	16



公益社団法人
静岡県造園緑化協会
会長 櫻井 淳

新年あけましておめでとうございます。

皆様とともに健やかに新年を迎えることができることを心からお慶び申し上げます。

また、皆様には日ごろから当協会の運営に特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、大型の台風の襲来が相次いだ年でした。特に十月に発生し関東甲信地方や東北地方に記録的な大雨を降らせ甚大な被害を与えた台風十九号は、本県においても上陸地点である伊豆半島を中心に、住宅の損壊や浸水被害に加え、農林業や商業にも深刻な影響を及ぼしました。

一方、県内で四試合が行われたラグビーワールドカップ2019は、日本代表の大躍進に國中が沸き、令和という新たな時代の幕開けにふさわしいイベントとなりました。本年も東京2020オリンピック・パラリンピックにおける更なる盛り上がりが期待されます。

こうした社会の流れを造園業の活性化につなげていくには、専門技術の研鑽や、地域ニーズに応える体制の強化が重要となります。そのため、当協会ではツリークリエイミングやロボット芝刈機などの新たな技術の修得のための技術研修会の開催や、協会員の連携強化を進めているところです。今後も県内の環境緑化や技術支援に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

さて、生態系の保全が叫ばれている現在、地域それぞれの特



静岡県知事

川勝 平太

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新年を迎えてられましたこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和四十一年の発足以来、五十年以上にわたり、県内各地での緑化相談所の開設や緑化セミナーの開催、特別支援学校への緑化技術支援などを通じて、綠豊かな住みよい県土づくりに多大な貢献をいただいていることに対して、改めて感謝申し上げます。

昨年のラグビーワールドカップ2019では、本県のエコパスタジアムにおいてラグビー界の歴史に残る素晴らしい試合が繰り広げられ、「静岡ショック」の見出しの下に「静岡」の名前が世界に広く知られるところとなりました。本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催も控え、本県への注目はますます高まり、国内外との交流の更なる拡大が期待されます。

本県を訪れる皆様を心を込めておもてなしする一つの手法として、その土地ならではの文化資源や自然と調和する、地域の特性を踏まえた「美しい景観」を創造・保全していくことが挙げられます。住む人も訪れる人も地域に愛着と魅力を感じる「住んでよし、訪れてよし」の理想郷「ふじのくに」を目指し、「回遊式庭園」に見立てられる本県ならではの美しい景観を更に磨き上げ、世界に発信してまいります。

国内外から憧れを呼ぶ美しい「ふじのくに」の実現には、緑化に関する高度な技術や専門知識を有する貴協会並びに会員の皆様のお力添えが欠かせません。皆様におかれましては、本県の花と緑が織り成す美しい景観づくりを支える存在として、引き続き御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御发展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

緑化巡回アドバイザー



非常に良く管理された芝生



芝生は密で、良好な状態に保たれている



生育状況が悪い芝生地



芝草研の池村氏による施肥の現地指導

公益財団法人静岡県グリーンバンクから委託を受け、県内の緑化施設で当協会会員が育成管理指導を行いました。

今年度の対象は、平成二十九年度(二年経過)、平成二十八年度(三年経過)、平成二十六年度(五年経過)に施工した箇所です。

全部で三十二箇所、地区別では東部十七箇所、中部五箇所、西部

十箇所です。

調査は、令和元年九月四日(水)から十九日(木)までの期間で実施しました。

事業別では、「園庭等芝生化モデル事業」が二十箇所、「街の森づくり事業」が一箇所、また今年度から追加となった「景観づくり団体支援事業」が十一箇所でした。芝生地の調査割合が多いのは例年どおりです。

生箇所は、概ね七割程度がよく管理されていました。地域的には東部地区が良く管理されている割合が高いと感じました。三島市や清水町などは近接地に園が集中しているため、各園の担当者が切磋琢磨して管理に取り組んでいるようです。また、昨年の調査後に多くの施設で芝刈機の研磨を実施していました。



芝生管理者からの管理状況の聞き取り

「街の森づくり事業」のビオトープ

箇所では生物に配慮した管理が行われており、今後も継続されるようお願いしました。

新規の「景観づくり団体支援事業」は、対象が里山から都市緑化までと幅が広いため、今後指導方法等に工夫が必要であると感じました。



【森街】ビオトープ整備箇所



【景観】街路沿いの花壇整備



【景観】キャンプ場周辺の樹木植栽



ドローンを操作する渡邊氏

今回の育成管理指導では、(株)富士見園の渡邊豊氏が、所有するドローンを持参され、芝生地の撮影を行いました。セッティングも簡単で、直ぐに上空から芝生地の全貌が確認出来るため、芝生管理に役立つと感じました。

当協会では今年度、ドローン技術研修会を開催しますので、ご興味のある会員の皆様は是非参加をお願いします。

ドローン撮影



芝の生育状況が分かります



施工後の芝の広がりも確認出来ます

日比谷公園ガーデニングショー2019



ガーデニングショー入場ゲート（日比谷通り側）



会場内の様子（第二花壇内）



【ガーデン部門】東京都知事賞の作品



【コンテナガーデン部門】環境大臣賞の作品

「第十七回日比谷公園ガーデニングショー2019」は、首都東京の日比谷公園から「花と緑・環境」のメッセージを世界に発信するとともに、これからの都市における「花と緑のライフスタイル」を提案することを開催趣旨とし、令和元年十月十九日(土)から十月二十七日(日)までの九日間、開催されました。十月二十一日(月)に会場を訪れました。

◇行事概要◇
都立日比谷公園内の噴水広場、第二花壇周辺において、ガーデンコンテスト作品展示、おもてなしモデルガーデン等の展示、企業・団体デモンストレーション等出展、コンサートなどとの催事が行われました。

○ガーデンコンテスト作品展示

四部門に応募されたコンテスト作品が展示されています。各部門の展示作品から、国土交通大臣賞

農林水産大臣賞、環境大臣賞、東京都知事賞等が選ばれ、発表されました。
【ガーテン部門】
「和・技・美・庭から緑の都市へ」をテーマに十五作品の応募がありました。
【ライフスタイルガーデン部門】
「美食・住・暮らしを楽しむガーデニング」をテーマに十四作品の応募がありました。
【コンテナガーデン部門】
五十八作品の応募がありました。



【ライフスタイルガーデン部門】国土交通大臣賞の作品

【ハンギングバスケット部門】

九十三作品の応募がありました。



【ハンギングバスケット部門】作品を見る来園者

売等を行つており大盛況でした。

○コンサート他の催事



「おもてなしフォトスポットガーデン 2019」

する「花と緑のマルシェ」、ミストの付いた「動かせる緑陰ベンチ」の展示等多くの展示がありました。



寄せ植え講習を行つてある出展テント

開催期間は九日間と短いものの、流石に首都開催のイベントらしく内容はミニ都市緑化フェアと言える位の大規模なものでした。名称はガーデニングショーでしたが、造園関係者による作品も多く展示されていました。



ミスト付きの「動かせる緑陰ベンチ」の展示

○おもてなしモデルガーテン等の展示
おもてなしをテーマとした「モルガーデン」や、花やカラーリーフで作り上げた「おもてなしフォトスポットガーデン 2019」が展示されていました。

○企業団体テント等出展

会場内では四十二の出展テントにおいて、企業団体が体験会や販

ステージにおいて「都市緑化キャンペーン 2019」が開催されたり、全国都市緑化広島フェアの紹介、ガーデンシクラメンの寄せ植え講座、花苗の配布、海上保安庁音楽隊コンサート等が行われました。その他、関東の若手造園職人による「ミニガーデン作品の展示」、参加者が緑化資材を持ち寄り販売

してきました。



今年開催の「全国都市緑化ひろしまフェア」の PR

みどりのおたより

県環境ふれあい課

静岡県では、「花と緑が織り成す美しい庭園県」を基本理念とした静岡県緑化推進計画に基づき、住む人が誇りと愛着を抱き、訪れる人の感動を呼ぶ、静岡県ならではの「魅力あるくらし空間づくり」に取り組んでいます。



修善寺駅のハンギングバスケット

財団法人静岡県グリーンバンクの補助事業として実施しています。

平成三十年度には、伊豆の国市、三島市、富士市、伊豆市の四箇所で事業が実施され、おもてなし空間の整備が行われました。

伊豆市の玄関口にあたり、東京

2020オリンピック・パラリンピックの輸送の結節点になる修善寺駅では、ハンギングバスケット等が設置されました。ハンギングを低く配置することにより、華やかで来訪者の目を引く存在となっています。

富士市の玄関口にあたる新富士駅では、富士山口駅前広場の改修

その実現のために、駅前など多くの人々が行き交う場所において、地域の皆様が自ら育てた花や地元の資材を活用した花壇づくりを支援する花と緑のおもてなし空間整備事業^①を、平成三十年度から公益

県東部地方を中心、東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、これまでの公共花壇とは異なる、立体感のある花と緑のおもてなし空間が着実に創造されており、世界各地からの訪問客に本県の魅力を発信し、地元から愛される地域の新しいシンボルとなっています。



新富士駅富士山口駅前広場のフラワータワー

令和元年度は、伊豆の国市、伊豆市、小山町の三箇所で事業が実施されています。

伊豆の国市白山堂の大門橋東詰付近にある花壇は、世界ジオパークに認定された城山と葛城山などの山々と狩野川を表現した立体的な花壇となりました。自動灌水装置を取り入れ、宿根草や低木も植栽し、管理の手間が軽減されています。

また、小山町では、東京2020オリンピック・パラリンピックの新しい富士市のインスタ映えスポットになることが期待されている



伊豆の国市の花壇

樹木や草花の適切な施工、維持管理のためには、専門知識をお持ちの造園緑化関係者の御協力が不可欠です。県内の魅力あるくらし空間の創出に向け、今後とも貴協会の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

備事業^①を、平成三十年度から公益

優秀施工者 国土交通大臣顕彰



(有) 常華園の渡邊正俊氏

令和元年十月十一日(金)、東京都港区のメルパルクホールで「令和元年度優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)式典」が開催され、(有)常華園の渡邊正俊氏が受賞されました。

渡邊氏は平成元年五月に常華園に入社され、以来三十年間造園工事の現場の第一線において業務に精勤し、常に技能・技術の向上に努め、他の横範であつたことが評価されました。

建設産業構造 改善推進のつどい (静岡県優秀施工者知事表彰)



(株) 庭明の荒井俊浩氏

令和元年九月十三日(金)、静岡市葵区の静岡市産学交流センターにおいて「令和元年度建設産業構造改善推進のつどい」が開催されました。

第一部の「静岡県優秀施工者褒状授与式」では(株)庭明の荒井俊浩氏が表彰されました。

静岡県さくらの会 表彰式・通常総会

げ、それらの知識と経験を活かして技術指導に積極的に努めていることが評価されました。

第二部の「普及説明会」では、一般財團法人建設業振興基金の担当者を講師に「建設キャリアアップシステムの現状利用方法」についての講演がありました。



写真コンクール優秀作品の展示



表彰状の授与 (さくら労働者)

貴は富士市の宮崎泰一様(静岡県

内の桜)部門特選では静岡市駿河区の遠藤誠成様「富士山と桜」部門特選では神奈川県足柄下郡の上野祐司様が受賞されました。

令和元年六月二十一日(金)、静岡市葵区の県庁別館二十一階展望ロビーにおいて、「令和元年度静岡県さくらの会」の表彰式・第五十四回通常総会」が開催されました。

表彰式では最初に「静岡県さくら功労者」の表彰があり、掛川市の田旗康二様と河津町の土屋達雄様が受賞されました。続いて「静岡県さくら写真コンクール」の最優秀

緑の相談所開設

十月から十一月にかけて、県内各地のみどりまつりや秋の園芸市などの会場で緑の相談所を開設し、協会員が緑の相談に応じました。

会場では花苗や花の種、緑化パンフレットなどを配布しました。

また、今年は台風等の影響で多くの会場が設営に苦労しましたが、開設日にはたくさんの方々の相談を受けることが出来ました。



三島市（長伏公園） 緑化相談・花の種配布



藤枝市（蓮華寺池公園） 緑化相談ほか



富士宮市（市役所） 緑化相談・花苗配布ほか



静岡市（清水日本平運動公園） 花の種配布



静岡市（清水日本平運動公園） 客土の配布ほか



浜松市（アクト通り） 緑化相談



磐田市（アミューズ豊田） 花苗配布ほか

まちづくり二〇一九 ふれあいイベント



イベント会場入口（青葉イベント広場）



アンケート回答者に花苗を配布

令和元年九月二十八日(土)、静岡市葵区の青葉イベント広場で（一社）静岡県建設産業団体連合会の「まちづくり二〇一九ふれあいイベント」が開催され、当協会も参加しました。

会場では建産連各団体による高所作業車やミニサー車の乗車体験、スタンプラリーが行われ、当協会からは、午前と午後の二回、

土曜日の繁華街での開催でしたので多くの家族連れが訪れ、会場の体験型イベントを楽しんでいました。今年はラグビーワールドカップ開催期間中でしたので、ユニフォームを着た外国の方の見学もありました。

くじ引きを行いました。

「みどりのアンケート」に記入していただいた全員に花苗（ガーデンシクラメン百鉢、ナデシコ六十鉢、カラコンコエ六十鉢）のいずれかの配布と、プランターピックが当たるくじ引きを行いました。

◆「みどりのアンケート」◆集計結果（回答者二〇名）

Q3 「する」と答えた方、手入れは何をしますか？

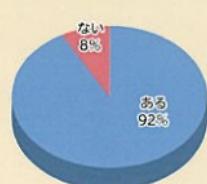
- ①水やり(三十四人)
- ②雑草を取る(八十一人)
- ③苗を植える(七十七人)
- ④植え替え(七十三人)
- ⑤剪定を行なう(五十三人)
- ⑥種を播ぐ(三十八人)

回答が多い順(複数回答)
複数回答

Q2 「ある」と答えた方、木や花の手入れはしますか？



Q1 あなたの家に「木や花」はありますか？



Q6 あなたは今後も「みどりのある生活」をしたいですか？

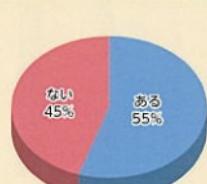
- したくない どちらでもない 9%
- したい 89%

回答が多い順(複数回答)
複数回答

Q5 「ある」と答えた方、それはなんですか？

- ①害虫対策(三十九人)
- ②水やり(三十二人)
- ③日当たり(二十九人)
- ④施肥の方法(二十八人)
- ⑤病気対策(二十五人)
- ⑥剪定の方法(二十四人)
- ⑦植え替え(十六人)

Q4 木や花の手入れで困ることはありますか？



静岡県景観賞（取組発表・最終審査・表彰式）



川口審査委員長の開会挨拶



「久努（くど）の松並木」の取組発表



最優秀賞の表彰状授与

令和元年十一月二十八日（木）、静岡市葵区の静岡音楽館AOIの七階講堂において、「第十二回静岡県景観賞（取組発表・最終審査・表彰式）」が開催されました。

最初に川口審査委員長から、「本県の景観賞は、都市景観賞時代から数えると三十二回目となり、全国有数の歴史のある賞である。また、過去の受賞箇所を分析すると、

創造性、協働性、継続性の三つの共通点がある」と挨拶がありました。

続いて、二十件の応募箇所から

「書類審査（八月二十二日）」「現地審査（九月十八・十九日）」を経て最終審査に残った四件の取組発表が行われ、最終審査を経て各賞が決定しました。

最優秀賞には、袋井市の「旧東

海道「久努（くど）の松並木」が選ばれました。地元住民の地道な努力により松並木を復活し、マツのデータ管理や補植活動など、この活動が今後も続くことを期待される内容が審査員に評価されての受賞です。

優秀賞には、静岡市の「日本平夢テラス」と伊東市の「大丸山における森づくり」の二箇所が受賞しました。

奨励賞は、島田市の「蓬莱橋を望む木製フォトフレーム」でした。



最終審査箇所の展示ブース



令和元年十月二十五日（金）に実施した第二回理事会（電磁的記録による同意）により、（株）アクトイオ静岡支店の賛助会員が承認されました。賛助会員としては（株）インブルに統いて二社目となります。

技士会だより

(通常総会)



講演を熱心に聞く技士会会員

令和元年八月十九日(月)、静岡市葵区駿府町の静岡県教育会館において、「第三十四回静岡県造園施工管理技士会通常総会」が開催されました。出席会員は七十四名(うち委任状五十五名)で、提出議案はすべて承認されました。

総会終了後、静岡県農林技術研究所森林・林業研究センターの星川健史主任研究員に「樹木調査におけるドローンの活用」の講演をしていただきました。



撤去後



撤去前

撤去は令和元年六月十三、十四日の二日間で完了しました。耐震工事に伴い撤去を行いました。減効果を示す貴重な観測データも残してくれましたが、放送会館の耐震工事に伴い撤去を行いました。

壁面緑化施設撤去

静岡新聞社壁面緑化施設は、平成二十二年の設置以降当協会が管理してきた施設で、建物を訪れる多くの人達に潤いのある緑の景観を提供するとともに、夏の気温低減効果を示す貴重な観測データも残してくれましたが、放送会館の耐震工事に伴い撤去を行いました。

撤去は令和元年六月十三、十四日の二日間で完了しました。耐震工事に伴い撤去を行いました。減効果を示す貴重な観測データも残してくれましたが、放送会館の耐震工事に伴い撤去を行いました。

令和元年十二月一日から、運転中にスマホ操作を行うスマート「ながら運転」の罰則が強化されました。携帯電話の使用で交通に危険を生じさせた場合は免許停止という非常に重い罰則が摘要されます。

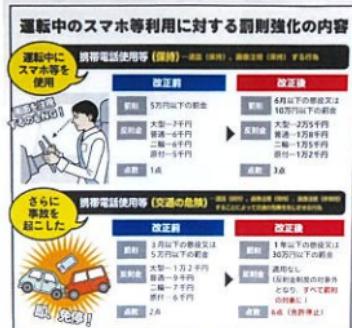
なお、ハンズフリー電話について警察本部に確認したところ「今回の規制の対象とはならないが、前方不注意等で交通事故を起こせば安全運転義務違反となる」とのことでした。

ハンズフリー電話は違反ではないようですが、通話に気を取られて前方不注意とならないよう十分に気を付けて運転されるようお願いします。

スマホ「ながら運転」の罰則が強化されました



静岡県警察のリーフレット



罰則強化の内容 (リーフレットの裏面一部)

